



第6回

エコツーリズム大賞募集

**エコツーリズム
とは**

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたです。



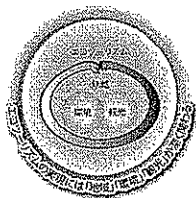
受賞者の言葉

第5回エコツーリズム大賞受賞
「海島遊民くらぶ」

エコツアーを通して、鳥羽らしい持続可能な観光のあり方から、持続可能な地域づくりへの貢献を目指す。観光から感幸へ。

(続きは <http://ecotourism.env.go.jp/eco/> で)

主催：環境省



未来が変わる。
日本が変わる。
25
チャレンジ
ステップ 地球環境



いのちの共生を、未来へ
COP10/MOP5
愛知-名古屋 2010



生物多様性、それはいのちの
生物多様性、それは私たちの暮らし

第6回 エコツーリズム大賞 募集

- ① 応募資格
- ② 応募対象
- ③ 審査方法
- ④ 審査結果の公表及び表彰
- ⑤ 応募方法

エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的としています。

地域の自然環境や歴史文化を保全しつつそれらを体験する「エコツーリズム」に関連し、環境保全活動を取り入れた取組や、様々な自然体験(農林水産業体験や生活文化体験を通じた自然環境への理解につながる活動なども含む)の取組、その他の取組について、環境保全や地域活性化、良質な体験提供等の視点から特に優れた活動を行っている事業者、団体、自治体など(例: ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)を対象とします。

- (1) 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
- (2) 自薦、他薦の別を問いません。
- (3) 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

審査は、次に定める審査基準により、別に設ける「エコツーリズム大賞審査委員会」が行います。
 「エコツーリズム大賞」……総合的に優れた取組に対して1件。
 「エコツーリズム優秀賞」……エコツーリズム大賞に準じて総合的に優れている若しくはリーディング的な取組に対して数件。
 「エコツーリズム特別賞」……萌芽的若しくは特定の分野での優れた取組など奨励すべき取組に対して数件。

エコツーリズムに関わる取組の実績を有し、その推進に貢献している事業者、団体、自治体などに対し、次の観点から審査を行います。

- (1) 地域の体験又は情報が良質に提供されているか。
- (2) 地域資源の保全と持続的利用に向けた取組がなされているか。
- (3) 地域の振興や活性化に貢献しているか。

審査結果は、環境省のホームページ上で公表します。
 受賞者には表彰状及び副賞を授与します。また、平成22年9月25日(土)に開催される「JATA世界旅行博2010」の会場において表彰式を行い、「エコツアー総覧」や各種イベント等でも紹介を行います。

(1) 提出書類

応募用紙に所定の事項を記入し、パンフレット、写真などの参考資料を添えてメール送付(ワード、エクセル、pdf)あるいは郵送、持参により提出してください。
 応募用紙は、ホームページ (<http://www.ecotourism.gr.jp/event/award/>) からダウンロードできます。

(2) 取組分野

下記のA~Dから取組分野にしたがって応募してください。
 (A~Cは必須、Dはあてはまる場合のみ記載してください。)

| エコツーリズムの取組分野の事例 | |
|--------------------------|---|
| A ガイダンス(説明や解説)の手法 | ・エンターテインメント(楽しさ)やホスピタリティ(おもてなし)の工夫 ・自然環境、地域文化などへの配慮 ・エコツアーにおける安全管理手法の確立 など |
| B 環境保全の取組 | ・環境保全の為にルール作成、調査研究活動及び持続的なモニタリングの実施、順応的な管理の実践 ・環境保全への収益還元システムの確立 ・自然再生の為に体験活動など環境保全を重視したエコツアーの実施 ・環境に配慮した宿泊施設や交通機関の運営 など |
| C 地域活性化の取組 | ・農林水産業等の地場産業体験や地産地消などの取組と連携したエコツアーの実践 ・地域への収益還元や地元雇用など地域振興に結びつける仕組みづくり ・地域が主体となる仕組みづくりや、地域の誇りづくり など |
| D その他の取組 | ・エコツーリズムの担い手育成 ・教育機関等との連携(子どもグループも対象) ・エコツーリズム発展の為に推進団体の設立・運営(持続的かつ計画性をもった取組) など |

※エコツーリズムの取組分野の事例については、「エコツーリズム基本方針」も参考にして下さい。
 (参考)環境省 HP http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/basic_policy.html

(3) 提出期限

平成22年8月20日(金)必着。

(4) 提出先及びお問い合わせ先

エコツーリズム大賞審査委員会事務局(NPO法人 日本エコツーリズム協会内)
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイゲイビル 4F
 ☎ 03-5437-3080 ☎ 03-5437-3081
 ✉ ecojapan@alles.or.jp
 ※応募資料(提出物)は、原則として返却しません。

第6回 エコツーリズム大賞 応募用紙

| | | |
|--|--------------------------------------|-------------|
| 審査対象名 (個人、団体又は事業者などの名前) | | 整理番号 (記入不要) |
| ふりがな | | |
| 代表者名 (団体、事業者などの場合のみ) | 担当者名 | 設立年 |
| ふりがな | ふりがな | 年(西暦) |
| 所在地 | 実施地域 (複数ある場合、主たる地域に○をつけてください) | |
| ふりがな | ふりがな | |
| 〒 | | |
| TEL | FAX | e-mail |
| | | |
| ホームページアドレス | | |
| http:// | | |
| 審査対象主体 下記の該当類型に○をつけてください。 | | |
| 1. ツアー事業者 2. 宿泊事業者 3. 交通事業者 4. 協議会 5. 地方公共団体 6. その他 () | | |
| 活動地域区分 下記の該当類型に○をつけてください。 | | |
| 1. 自然豊かな場所 2. 観光客が多く訪れる場所 3. 里地里山 4. 都市近郊 5. その他 () | | |
| 応募主体 | 1. 自薦 2. 他薦：他薦の場合は下記の項目にもご記入ください。 | |
| 推薦者氏名 | 所属組織名 | |
| ふりがな | ふりがな | |
| | | |
| 住所 | | |
| ふりがな | | |
| 〒 | | |
| TEL | FAX | e-mail |
| | | |
| 添付資料 (活動写真、パンフレット、地図、メディア掲載、その他参考資料) の名称及び品名等 | | |
| ※活動写真は計5枚程度とし、他の添付資料につきましても5点以内としてください。 | | |
| ※応募資料 (提出物) は、原則として返却しません。 | | |
| 1. | | |
| 2. | | |
| 3. | | |
| 4. | | |
| 5. | | |
| 情報公開に対する事前承認 | | 承認の可否 |
| 応募に関する情報について、環境省がホームページ、パンフレット等に掲載し、公開して使用することにあらかじめ承認いただけますか。 | | はい ・ いいえ |

裏面もご記入ください

応募の内容



I. 応募内容の主たるポイントを、200文字程度で、簡潔に説明してください。

Lined writing area for section I. A vertical line on the right side is labeled "100" at the top.

II. 取組分野(A～D)ごとに、それぞれ500文字以内で、内容を説明してください。

A. ガイダンスの手法 B. 環境保全の取組 C. 地域活性化の取組 D. その他の取組

- ※A～Cは必須で、Dは該当する場合のみ記入してください。
- ※年間のツアー催行回数や参加人数など具体的な数値情報も記入してください。
- ※この用紙1枚に書ききれない場合は、コピーして記入してください。

Lined writing area for section II. Vertical lines on the right side are labeled "100", "200", "300", "400", and "500" at their respective positions.